

拡充に対する10/10補助です。「7目 教育費都補助金、説明欄6 部活動指導員配置経費補助事業補助金」220万6千円は、部活動指導員の配置に対する補助です。「説明欄14 エデュケーション・アシスタント配置支援事業補助金」2,075万7千円の減は、同補助事業が不採択となったことにより、減額するものです。「説明欄3 私立幼稚園等送迎バス等安全対策支援事業費補助金」500万円は、幼稚園の送迎バスへの安全装置設置費に対する10/10補助です。「3項 委託金、5目 教育費委託金、説明欄3 文化プログラム・学校連携事業委託金」30万円の減は、東京都からの委託事業でしたが、都で直接実施することになったことにより、減額するものです。「説明欄4 運動部活動の地域移行等に向けた実証事業委託金」148万9千円は、実証事業の実施に対する委託金です。

「20款 繰越金、1項 繰越金、1目 繰越金」は、令和4年度繰越金を623万7千円、増額するものです。「21款 諸収入、5項 雑入、1目 雑入、説明欄6 雑入」8万円は、運動の習慣化による健康づくり事業への参加費です。

歳出です。「3款 民生費、1項 社会福祉費、1目 社会福祉総務費、説明欄38 住民税非課税世帯特別給付金」2億8,865万円は、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円を給付するものです。

「2項 児童福祉費、1目 児童福祉総務費、説明欄2 一般事務費」319万円は、子どもを2人以上持ちたいと願う方の経済的負担軽減に向け、10月から都制度が拡充され、第二子の保育料が無償化されることに対応するため、システム改修を実施するものです。

なお、無償化に伴う保育料等の整理は、第3回定例会での補正予算にて行う予定です。

「4款 衛生費、1項 保健衛生費、1目 保健衛生総務費、説明欄8 母子保健事業関係費」1,171万5千円は、とうきょうママパパ応援事業の拡充に伴う1・2歳児の家庭への相談支援や、国の伴走型相談支援を実施するため、保健師等を配置するものです。また、妊婦健康診査での超音波検査について、厚生労働省が示す望ましい基準は4回ですが、現状の公費負担は1回であり、安心して出産できるよう都制度が拡充されるため、3回分を増額し、4回分全てを公費負担とするものです。

「2目 予防費、説明欄10 新型コロナウイルス感染症予」50万円は、高齢者施設や障がい者施設等の社会福祉施設等において、新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合に、従業員及び施設利用者に対し、当該施設等がPCR検査を実施した場合や感染予防対策を目的としたPCR検査等

に係る費用を助成するものです。

「10 款 教育費、1 項 教育総務費、3 目 教育指導費、説明欄 31 エデュケーション・アシスタント配置支援事業」2,075 万 7 千円の減は、教員の負担軽減、学校の組織体制等の充実のため、全小学校へ、学校勤務経験者等を配置する都の 10/10 事業でしたが、不採択となったため、減額するものです。「説明欄 32 文化プログラム・学校連携」30 万円の減は、「日本人としての自覚と誇り」等の資質を育成する都の委託事業を狛江第三小学校において実施する予定でしたが、令和 5 年度から制度変更により、都において直接、実施することとなったため、減額するものです。「3 項 中学校費、2 目 教育振興費、説明欄 5 部活動助成」536 万 6 千円は、各中学校への部活動指導員について、当初予算では、継続配置期間が 5 年間でしたが、部活動の地域連携及び地域移行に資する取組を実施する場合は、3 年延長されることとなり、令和 7 年度まで継続配置が可能と変更されたため、6 年目以降となる 4 人について、継続配置するものです。また、部活動の地域連携・地域移行に向けた実証事業として、狛江第一中学校で野球部、狛江第三中学校でサッカー部で予定の 2 つの部活動に、他の中学校から生徒を合流させた合同部活動を編成し、実施・検証を行うものです。「4 項 幼児教育費、1 目 幼児教育振興費、説明欄 1 私立幼稚園協会等補助」500 万円は、子どものバス置き去り事故防止のため、幼稚園等送迎バス等安全対策支援事業費補助金を増額するものです。

「説明欄 2 私立幼稚園等園児保護者負担軽減」306 万 6 千円は、子どもを 2 人以上持ちたいと願う方の経済的負担軽減に向け、10 月から都制度が拡充され、多子計算における「小学校 3 年生までの兄・姉を有する幼児」という年齢制限が、18 歳に緩和されることに対応するため、システム改修を実施するものです。「5 項 社会教育費、1 目 社会教育総務費、説明欄 12 地域学校協働活動推進事業」150 万円は、全中学生を対象に、キャリア教育の一環として、トップアスリートの生き方や考え方に触れることにより、夢に向かって努力する姿勢、困難に立ち向かう意欲を培うとともに、普遍的な価値とスポーツの求心力等に触れ、自己のキャリア形成の構築に資する講演会を実施するものです。「6 項 保健体育費、1 目 保健体育総務費、説明欄 6 市民スポーツ振興費」1,005 万円は、健康体操を通じた、子育て期の母親のスポーツ実施率の向上と、健康促進、体力向上を目指し、運動の習慣化による健康づくり事業を実施するものです。

なお、住民税非課税世帯特別給付金等、早期に対応すべき案件があるため、初日審議でお願いします。

副市長 教育予算に関して、年度に入ってから都の意向による増減が激しく、同じ

都の中にあって、他の部局と同じ対応をしていただけないと各自治体、各学校も混乱が生じるため、部長会や教育長会で意見するようにしてください。

市長 他に特に意見等なければ、案のとおり決定します。

次に、報告事項1「令和5年度保育所入所待機児童数及び令和5年度学童クラブ入所（入会）状況について」を報告してください。

部長 令和5年度保育所入所待機児童数及び令和5年度学童クラブ入所（入会）状況についてです。

まず、令和5年度保育所入所待機児童数についてです。令和5年4月1日の保育所入所待機児童数は18人です。近年増加傾向であった保育園申込件数は26人減となりましたが、待機児童数は令和4年度の18人から増減なしでした。

なお、令和5年4月1日現在の認可保育施設の空き状況は、0歳児クラス35人、1歳児クラス1人、2歳児クラス2人、3歳児クラス4人、4・5歳児クラス32人、市内認証保育所3園の空き状況は0～2歳児クラス0人、3歳児クラス1人、4～5歳児クラス0人となっています。令和5年4月1日の認可定員は、例年に引き続き定員の弾力化運用を実施しましたが、待機児ゼロを達成することはできなかった状況です。今後については、認可保育園の新設は予定していませんが、引き続きベビーシッター利用支援事業の継続実施を進めていきます。

続いて令和5年4月1日現在の学童クラブ入所（入会）状況についてです。学童クラブでは、和泉小学校放課後クラブの定員増及び猪方こどもクラブの新設に伴い、定員を令和4年度の930人から990人に60人拡大しています。入所（入会）者総数は、1,006人で令和4年度の949人に対し57人の増です。定員以上の受入れをしているのは、猪方、松原、東野川、駒井の各学童保育所、岩戸、和泉、こまっこの各小学生クラブです。学童保育所の職員との調整や、児童館の指定管理者の雲柱社及び株式会社子どもの森と協議を実施し、可能な限りの対応をしています。

また、令和5年度は新たに民間活力を活用して猪方こどもクラブの運営を開始しています。令和4年度に対し、申込み者数は45人増となりましたが待機児童数は151人から124人と減となりました。内訳としては1～3年生50人、4～6年生74人となっています。待機児童数が減となった理由としては、小学生人口の増や学童クラブ需要の伸長に対し、短期的な待機児童対策が一定程度効果があったと考えられますが、今後においても具体的な待機児童対策を進めていく必要があります。

なお、現状の待機児童にはKoKoA及び児童館の自由来館等で対応しています。

市 長 待機児について、更なる解消策の検討をお願いします。
その他ありますか

部 長 狛江市フェスタについてです。市と協定を締結している読売ジャイアンツの狛江市フェスタが5月27日にジャイアンツ球場で開催されます。試合はイースタン・リーグ公式戦で読売ジャイアンツ VS 東京ヤクルトスワローズ、午後1時プレーボールです。読売ジャイアンツからのオファーもあり、そのPRとして社会教育課は5月26日までジャイアンツのベースボールシャツを着用します。

チケットについて、内野席は既に満席ですが、外野席にはまだ余裕があります。在住、在勤、在学が対象となるため、興味がある方は早めに応募をお願いします。

市 長 他になければ、以上で本日の庁議を終了します。次回の庁議は、5月30日午前9時00分から開催します。